

**<地域重点プロジェクト>
個別の取組(国)**

シーニックバイウェイの推進

○宗谷シーニックバイウェイについて

宗谷シーニックバイウェイは、稚内市、猿払村、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、浜頓別町の7市町村にまたがるエリアで、平成18年にシーニックバイウェイルートとして指定されました。

エリアでは、一般国道40号、238号、275号、道道や利尻・礼文島を結ぶフェリー航路の13の魅力あるロードがあり、現在、22の団体が“みち”を活かした「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」に取り組んでいます。また、令和3年に稚内市の2区間「宗谷歴史ロード」及び「宗谷周氷河ロード」をシーニックバイウェイ「秀逸な道」に認定し、多様な主体の連携の下、良好な景観の維持・形成や誘客・周遊の促進に向けた情報発信等様々な活動を行っており、行政としては、各団体の活動を支援しています。



○各団体の活動（一例）

宗谷シーニックバイウェイの2つのロードが「秀逸な道」に認定されました。



「秀逸な道」の清掃活動を実施



宗谷管内のサイクルツーリズム推進を目指し
宗谷サイクルバスの見学会を実施



サイクルツーリズムの推進

○きた北海道ルートについて

・ 道北地域のサイクルツーリズムを推進し、国内外から道北地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的とし、宗谷SBW、天塩川SBWとが連携し、平成29年から活動しており、令和元年には「北海道サイクルツーリズム推進協議会」のきた北海道ルートに登録され、受入環境整備を官民連携で推進する取組を進めて参りました。この一環として、道路パトロールカー及び稚内観光協会の車両に、空気入れ・自転車整備工具を積み込み、サイクリストに貸し出しをする「サイクリスト・応援カー」の取組を令和3年度からスタートしております。

ルートの魅力である一級河川天塩川や利尻礼文サロベツ国立公園といった自然観光資源などを巡り、休憩施設や宿泊施設を利用しながら、日本最北端の宗谷岬を目標到達点とし、自転車走行環境の改善に取り組んでいます。



○宗谷管内の取組事例（一例）

「サイクリスト・応援カー」が受入環境を改善
(稚内市、稚内観光協会、道路維持工事受注者)



自転車走行環境の改善
(路面標示・案内看板の設置)



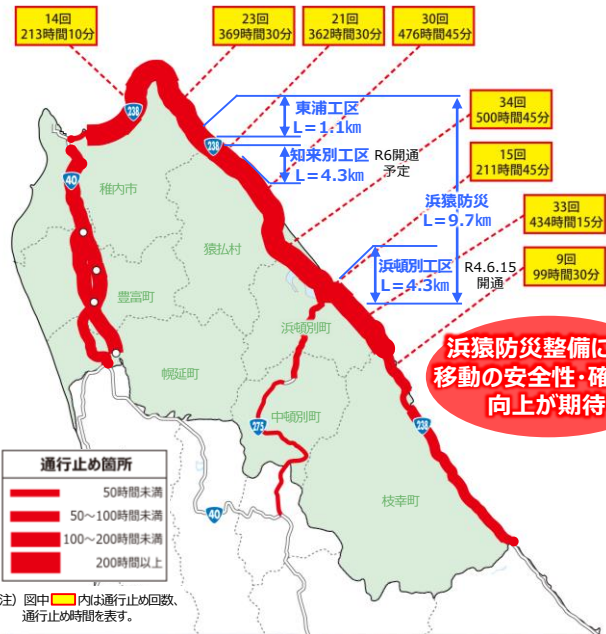
浜猿防災（一般国道238号）

一般国道238号は、網走市と稚内市を結び延長約320kmの幹線道路であり、このうち浜猿防災区間は国道238号において、地吹雪による視程障害が発生しやすく、また高波による道路損壊の実績もあることから、道路の安全な通行の確保を目的とした延長約10kmの防災事業です。

安全・安心な地域づくり

国道238号が通行止めになると、稚内市及び近隣市町村への行き来が困難になるため、浜猿防災整備により移動の安全性・確実性向上が期待されます。

吹雪、地吹雪による通行止め（H12～R4年度）



浜猿防災整備により移動の安全性・確実性向上が期待

通行止め箇所

- 50時間未満
- 50～100時間未満
- 100～200時間未満
- 200時間以上

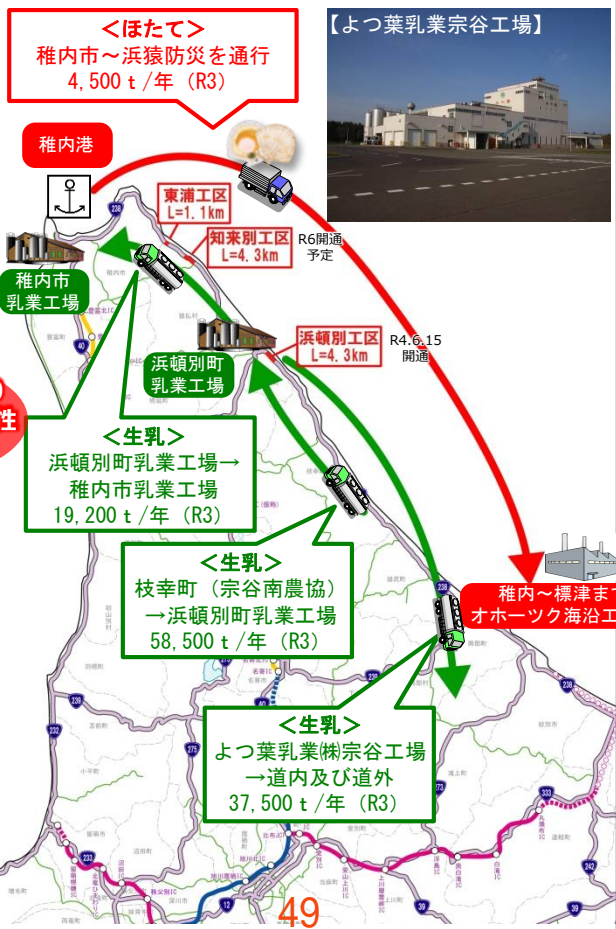
注) 図中黄色い箱内は通行止め回数、通行止め時間を表す。



資料：稚内開発建設部

農業・水産供給力向上

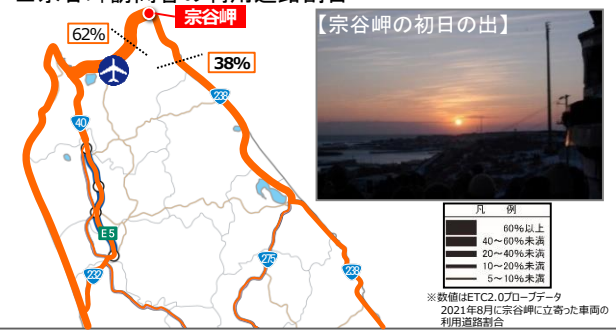
宗谷地域は、漁業と畜産が盛んな地域であり、浜猿防災整備により、宗谷地域から各地に輸送される農水産品の供給力向上が期待される。



道北広域観光活性化

国道238号は宗谷と網走地方のオホーツク海沿岸を結ぶ道路であり、観光道路として宗谷岬を訪問した観光客の約4割が利用しており、浜猿防災整備による安全性向上により、広域観光活性化が期待される。

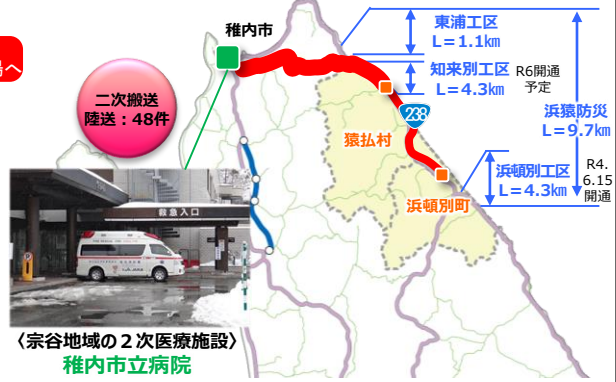
宗谷岬訪問客の利用道路割合



広域交通ネットワークの形成

宗谷地域の二次医療施設は稚内市に立地しており、国道238号沿線町村からも稚内市へ救急搬送されています。浜猿防災整備により救急搬送の迅速性向上が期待されます。

浜頓別町・猿払村から自市町村外への救急搬送件数 (R3)



天塩防災（一般国道40号）

一般国道40号は、旭川市と稚内市を結ぶ延長約250kmの幹線道路であり、このうち天塩防災区間は、中規模程度の地震発生時に被害が想定される天塩大橋の架替整備で耐震機能を確保するとともに、地吹雪等視程障害の低減を図る、道路の安全な通行の確保を目的とした延長13kmの防災事業です。

安全・安心な地域づくり

当該区間は地吹雪が発生しやすい区間であり、平成26年3月には暴風雪により患者搬送中の緊急車両の横転事故が発生しています。天塩防災整備により、冬期交通の安全性、災害時の迅速性向上、令和2年10月30日には新しい天塩大橋が開通し、大型車の往来がスムーズになったため、物流の効率化についても期待されます。また、天塩大橋の架け替えにより、耐震性能が向上しており、緊急輸送道路として、大規模災害時等における安全性・信頼性が確保されます。稚内開建施工分L=1.8kmが令和5年度に開通予定です。



旧天塩大橋(トラス部)

新・天塩大橋



天塩大橋が通行止になった場合、大幅な迂回が生じ、道北地域の主要産業である生乳・生体牛の輸送に大きな支障が発生するが、天塩大橋の架け替えにより、地震時の通行止めによる迂回リスクの低減が期待できる。



農業・水産供給力向上

宗谷地域は、漁業と畜産業が盛んな地域であり、天塩防災整備により、宗谷地域から各地に輸送される農水産品の供給力向上が期待される。

稚内市

【水産業】

- ・稚内漁協・・・さけ類、いか、なまこ
- ・稚内機船漁協・・・ほっけ、すけそうだら
- ・宗谷漁協・・・ほたて貝、たこ

【製造業】

- ・水産加工場・・・すり身、冷凍など48社
- ・生乳、乳製品・・・明治稚内工場（バター、脱脂粉乳）

豊富町

【畜産業】

- ・豊富地域家畜市場
 販売頭数・・・22,728頭
 年間セリ回数・・・69回
 (R4年度)

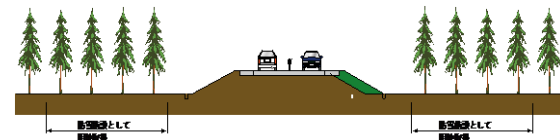


■流通状況

- ・鮮魚類・・・札幌市中央卸売市場に約2,060t出荷（R4年）、ほか道内・道外。
- ・加工品・・・稚内市内の加工会社で製造され、道内外、海外に出荷。年間生産額157億円（R3年）。
- ・生乳・・・明治稚内工場から幌富B.P.を利用して道外に約1000t輸送（R3年度）。
- ・生体牛・・・販売頭数の約6割が幌富B.P.を利用して道内外に輸送。

豊かな自然環境保全

天塩防災周辺は、利尻礼文サロベツ国立公園に近接する自然豊かな地域であり、国道沿線に防雪対策で設置される防雪林は、自然環境を保全し多様な生物の生育環境に配慮されている。



広域交通ネットワークの形成

天塩防災の整備により、稚内市・豊富町から名寄市・旭川市への救急搬送の迅速性向上が期待される。

■国道40号を利用した救急搬送件数

【市立稚内病院】

診療科目数：20科
 病床数：332床

稚内市から上川地域へ
 100件（R3）

- ・旭川市37件
- ・名寄市63件

豊富町から上川地域へ
 救急搬送8件（R3）

- ・旭川市2件
- ・名寄市6件

【名寄市立総合病院】

診療科目数：22科
 病床数：359床

